

令和元年度  
事業報告書



社会福祉法人尾鷲市社会福祉協議会

## 理念

尾鷲市のだれもが  
安心して生活できるまちづくりをすすめていく

## 職員心得

- 一、笑顔であいさつ
- 一、責任ある行動
- 一、思いやりを持って接する

# 目次

I	地域福祉課	
	総務・福祉係.....	1
II	生活支援課	
	生活支援係.....	18
III	高齢者支援課	
	地域包括支援センター.....	25
IV	障がい支援課	
	紀北地域障がい者総合相談支援センター結.....	34
V	居宅介護支援課	
	居宅介護支援事業所.....	42
VI	訪問介護事業課	
	訪問介護事業所.....	44
VII	訪問入浴事業課	
	訪問入浴事業所.....	48
VIII	尾鷲通所介護事業課	
	尾鷲社協デイサービスセンター“いきいき”.....	49
IX	輪内高齢者サービスセンター	
	輪内デイサービスセンター.....	51
	輪内高齢者サービスセンター.....	53



# I. 地域福祉課

## 総務・福祉係

---

### 1. 会務の運営

適正な法人運営と円滑な事業推進を図るため、次のとおり理事会並びに評議員会を開催した。

#### (1) 理事会

##### 第1回 令和元年6月6日 出席者 10名

- 議題
- ・平成30年度事業報告(案)について
  - ・平成30年度決算(案)について
  - ・令和元年度【第1回補正】資金収支予算(案)について
  - ・評議員選任候補者の推薦(案)について
  - ・評議員・選任解任委員会の招集(案)について
  - ・令和元年度定時評議員会の招集(案)について

- 報告
- ・社会福祉充実残額について
  - ・第2回理事会について

##### 第2回 令和元年6月21日 出席者 12名

- 議題
- ・会長の選任について
  - ・副会長の選任について
  - ・常務理事の選任について

##### 第3回 令和元年8月22日 出席者 12名

- 議題
- ・駐車場の確保について
  - ・会長の辞任について
  - ・会長の選任について

- 報告
- ・輪内高齢者サービスセンターの指定管理委託について

##### 第4回 令和元年11月28日 出席者 11名

- 議題
- ・積立預金の目的外利用について

- 報告
- ・中央駐車場の件について

第5回 令和2年3月12日 出席者12名（書面決議）

- 議題
- ・ 令和元年度【第2回補正予算】資金収支予算(案)について
  - ・ 令和2年度事業計画(案)について
  - ・ 令和2年度【当初予算】資金収支予算(案)について
  - ・ 評議員選任候補者の推薦(案)について
  - ・ 評議員選任・解任委員会の招集(案)について
  - ・ 令和元年度第2回評議員会の招集(案)について

- 報告
- ・ 働き方改革関連法施行に基づく嘱託職員の雇用等に関する就業規則の変更について
  - ・ 令和2年度第1回理事会について

(2) 評議員会

第1回 令和元年6月21日 出席者32名

- 議題
- ・ 平成30年度事業報告(案)について
  - ・ 平成30年度決算(案)について
  - ・ 令和元年度【第1回補正】資金収支予算(案)について
  - ・ 理事の選任(案)について
  - ・ 監事の選任(案)について

- 報告
- ・ 社会福祉充実残額について

第2回 令和2年3月24日 出席者27名

- 議題
- ・ 令和元年度【第2回補正予算】資金収支予算(案)について
  - ・ 令和2年度事業計画(案)について
  - ・ 令和2年度【当初予算】資金収支予算(案)について
  - ・ 理事の選任(案)について

- 報告
- ・ 働き方改革関連法施行に基づく嘱託職員の雇用等に関する就業規則の変更について
  - ・ 令和2年度定時評議員会について

(3) 監事監査

- ① 令和元年5月21・22日 監事2名
  - ・ 平成30年度の事業及び決算についての監査
- ② 令和元年11月26日 監事2名
  - ・ 平成31年4月～令和元年9月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ① 令和2年2月7日 財政援助団体等監査(尾鷲市監査事務局)
- ② 令和2年2月27日 社会福祉法人指導監査(尾鷲市福祉保健課)

2. 事務局体制の強化

(1) 職員体制の強化

令和2年度事業強化に備え、登用試験を行った。

・登用者数 嘱託職員 1名

(令和元年度退職者 正規職員3名、嘱託職員3名)

(2) 福祉関係資格取得奨励及び各種研修会への参加

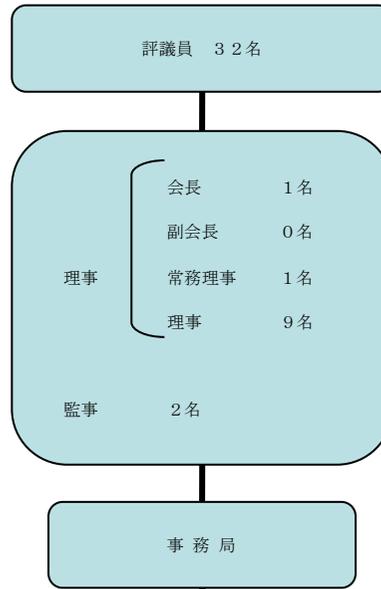
- |           |           |    |
|-----------|-----------|----|
| ① 資格取得の状況 | 精神保健福祉士   | 1名 |
|           | 主任介護支援専門員 | 1名 |
|           | 社会福祉主事    | 1名 |

(3) 活動基盤の改善・充実

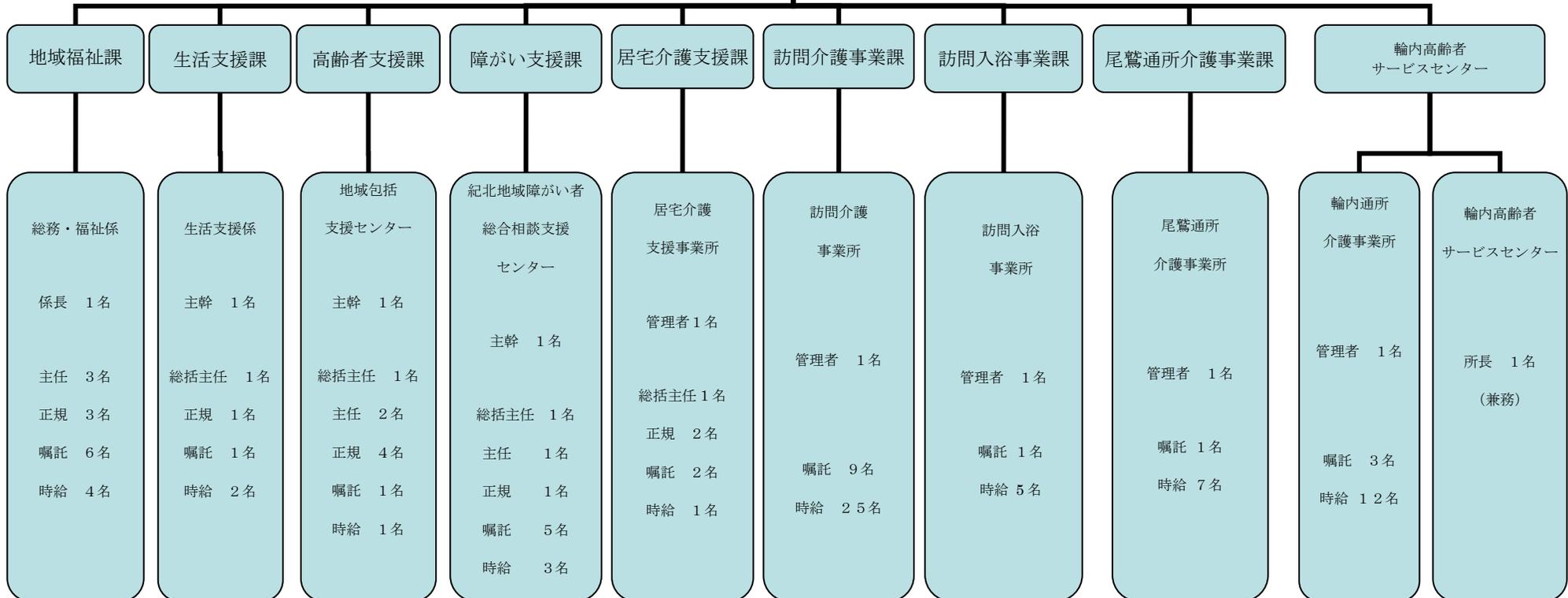
① 会計・税務顧問契約の締結

関係法令等の改正により高まる会計・税務の専門性に対応するため、引き続き税理士法人与顧問契約を締結し、適正な運営に努めた。

令和元年度 尾鷲市社会福祉協議会  
業務体制 (令和2年3月末日現在)



<b>職員数</b>	<b>119名</b>
(内訳)	
正規職員	27名
嘱託職員	32名
時給職員	60名
〈前年度職員数126名〉	



### 3. 地域福祉財源の確保

(1) 補助事業・委託事業などの公的財源の確保

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行の運営

市民の善意により、現金物品が寄贈された。

【現金】 一般預託	15 件	687,134 円
指定預託	5 件	197,027 円
合 計	20 件	884,161 円
※前年度合計	19 件	755,629 円

【物品】 ポータブルトイレ

### 4. 福祉団体活動支援

(1) 尾鷲市老人クラブ連合会の活動支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

① 老人クラブ連合会活動の支援

24 クラブ・会員数 1,097 名

② 尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

14 講座 2,818 名（前年度 14 講座 3,358 名）

(2) 尾鷲市遺族会の活動支援

遺族会の活動を支援した。

① 尾鷲市戦没者追悼式（尾鷲市との共催）

開催日：令和元年 6 月 1 日

場 所：尾鷲市民文化会館

参列者：250 名

### 5. 苦情解決事業の推進

苦情に対して社会性・客観性を確保するため第三者委員を設置し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を行うため苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。

(1) 苦情解決体制の構築

苦情解決責任者 事務局長

苦情受付担当者 総務・福祉係長

第三者委員 3 名委嘱

(2) 苦情内容・苦情総数

(単位：件)

苦情の内容	令和元年度	前年度
ケアの内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他 (職員の言動・交通マナー・施設管理)	1	0
本会以外への苦情等	0	0
合計	0	0

6. マイクロバス貸し出し事業

マイクロバスを貸し出して、各種団体の活動支援を行った。

利用団体：23 団体（前年度 20 団体）

利用回数：延べ 38 回（前年度 延べ 40 回）



7. ご当地キャラクター

尾鷲社協ご当地キャラクター、尾鷲よいとこやーやにゃんを用いて尾鷲の観光PRをするとともに、福祉へのイメージアップを図った。

(1) 出演

職員がスタッフとして市内外のイベントに出演した。

出演回数：5 回（前年度 12 回）

(2) 貸出

着ぐるみの貸し出しを行った。貸出回数：10 回（前年度 14 回）

(3) デザイン使用

出版物等にイラストの使用を許可した。件数：7 件（前年度 12 件）

## 8. 小地域福祉活動

### (1) 地区福祉委員会の活動支援

#### ① 代表者会議の開催

各地区の代表者に集まっていただき、地区福祉委員会活動の現状と課題について整理し、今後の方向性を確認した。

第1回 開催日：令和元年6月27日（木）

場 所：尾鷲市福祉保健センター4階多目的ホール

内 容：助成支援について、活動方針について

参加者：22名

第2回 開催日：令和元年11月19日（火）

場 所：尾鷲市福祉保健センター4階多目的ホール

内 容：地区福祉委員会活動の方針（案）について

参加者：26名



#### ② 地区福祉活動広報誌「地区福祉委員会だより」発刊（不定期）

地区福祉委員会の目的の再確認や活動紹介など、委員会への情報発信として広報誌を発刊した。

#### ③ 助成金の交付

地域福祉の増進を目指し、地区福祉委員会等の活動継続を促進するため17地区に助成金を交付した。

(ア) 基本助成：16地区 320,000円

- ・ 地区福祉委員会の事務費等活動維持費として助成

(イ) 活動助成：17地区 609,500円（※委員会未結成地区含む）

- ・ 各地区独自の活動費として助成

(ウ) 事業助成：16地区 1,481,800円

- ・ あったかふれあい訪問、ふれあいサロン、世代間交流事業に係る事業費として助成

## 9. ボランティア・市民活動センター事業

### (1) ボランティア・市民活動センターの効果的な運営

- ① 市内ボランティア・市民活動団体への情報提供
- ② ボランティア相談：17件
- ③ ボランティア保険の加入支援
  - ・ 活動保険：加入件数 817名（うち保険料助成 509名）
  - ・ 行事用保険：加入件数 43行事のべ 1,781名
- ④ ボランティア団体助成：12団体 235,000円
  - ・ ボランティア団体の活動支援として助成

### (2) 災害ボランティアのしくみづくり

#### ① 災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害ボランティアのしくみづくりのための人材育成として、2日間のボランティア養成講座を開催した。

場 所：尾鷲市福祉保健センター4階多目的ホール

内 容：第1回 令和元年7月6日（土） 参加者：44名

内容：災害時におけるボランティア活動について

講師：NPO法人みえ防災市民会議 山本 康史氏

第2回 令和元年7月13日（土） 参加者：45名

内容：災害ボランティアセンターの運営について

講師：尾鷲市社会福祉協議会職員

#### ② 災害ボランティア啓発講座

災害ボランティアやしくみづくりの重要性について関心を持ってもらい、少しでも多くの方に災害ボランティアコーディネーター養成講座を受講していただくことを目的として開催した。

内 容：尾鷲市における災害時の対応とボランティア活動

第1回 令和元年5月23日（木） 参加者：28名

場所：古江コミュニティーセンター

第2回 令和元年5月28日（火） 参加者：24名

場所：向井ふれあいセンター

第3回 令和元年5月29日（水） 参加者：31名

場所：須賀利漁民センター

第4回 令和元年7月23日（火） 参加者：13名

場所：尾鷲市福祉保健センター

講 師：尾鷲市防災危機管理課 古川 裕司氏

尾鷲市社会福祉協議会 山本雄一



③ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

(ア) 尾鷲市土砂災害総合防災訓練

開催日：令和元年6月30日(日)

会場：三木浦マリパーク駐車場

内容：災害ボランティアセンター開設準備訓練



④ 災害ボランティアに関する啓発

(ア) ちびっこ防災フェアへの出展

開催日：令和元年5月5日(日)

会場：夢古道おわせ駐車場

内容：災害時のボランティア活動について

(イ) 尾鷲市防災フェアへの出展

開催日：平成元年11月24日(日)

会場：尾鷲市体育文化会館

内容：災害時のボランティア活動について



## 10. 子育て・児童福祉

### (1) 子育て支援事業

- ① 子育てグッズ「無料レンタル」事業  
チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドを貸出した。  
新規貸出件数：68 件（前年度 57 件）
- ② 子育てグッズ「リサイクル」事業  
自宅で不要になった物品の仲介を行った。  
リサイクル物品提供件数：8 件（前年度 9 件）
- ③ 児童コーナーの自由開放と子育て情報の発信を行った。
- ④ こどもの日すこやか事業  
保育園・幼稚園児に子供の日の菓子を贈呈した。  
対象園児 376 名（前年度 405 名）
- ⑤ 小学校就学応援品贈呈事業  
一人親家庭の小学校卒業生に就学応援品として図書券を贈呈した。  
対象児童 29 名（前年度 27 名）

## 11. 福祉教育事業

### (1) 福祉協力校の指定と助成

福祉協力校〈小学校 5 校、中学校 2 校、高校 1 校、特別支援学校 1 校〉を指定し、各学校の福祉教育の充実を図るために助成を行った。

助成金額 8 校 360,000 円（1 校 45,000 円上限）

### (2) 福祉協力校との懇談

各学校を訪問し、福祉教育担当者と懇談、情報交換を行った。

### (3) 福祉体験教室の開催

福祉体験教室の開催や、福祉教育授業への支援を行った。

内 容：福祉保健センター見学、福祉教育授業、車椅子等の体験授業

実施校：尾鷲小学校、矢浜小学校、向井小学校、輪内中学校



## 12. 地域ふれあい事業（ 世代間・地域交流 ）

子どもたちが心豊かに育つ一助となること、および世代間・地域交流を目的に、個人ボランティアや中高生ボランティアとともに次の事業を開催した。

### (1) 夏休み福祉映画会

開催日：令和元年7月30日（火）  
参加者：小学生・障がい者 計114名  
内 容：「ズートピア」上映  
ボランティア：高校生33名（延べ）



### (2) 子育て応援イベント

開催日：令和元年12月7日（土）  
参加者：乳幼児・保護者・障がい者計70名  
内 容：子ども救急対応講座（日本赤十字社）  
もちつき大会・育児用品の交換会  
ボランティア：中学生24名  
婦人会・一般9名

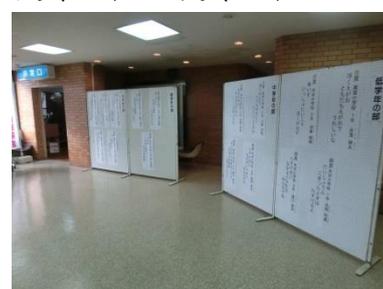


### (3) 福祉作品コンクールの実施

福祉教育の一環として、小・中学校生を対象に、福祉をテーマにした標語を募集し、入賞作品を尾鷲市社会福祉大会にて表彰した。

応募総数 432点

表彰者	小学校低学年の部	金賞1名	銀賞1名	銅賞2名
	小学校中学年の部	金賞1名	銀賞1名	銅賞2名
	小学校高学年の部	金賞1名	銀賞1名	銅賞1名
	中学校の部	金賞1名	銀賞2名	銅賞2名



### 13. 地域ふれあい事業（ 高齢者 ）

#### (1) ふれあいサロン・あったかふれあい訪問活動・世代間交流事業

地区福祉委員会による地域住民主体の仲間作り・交流の場づくりを目的とした『ふれあいサロン』や見守り活動となる『あったかふれあい訪問』、『世代間交流』への助言や活動への同行、助成金交付支援を実施した。地区福祉委員会の解散（須賀利）が続き、開催数、参加人数ともに減少した。

各地区の年間活動実績

地区福祉委員会	ふれあい訪問		ふれあいサロン		世代間交流	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦	5	605	1	18	1	60
賀田	1	79	1	46	0	0
矢浜	1	111	2	40	0	0
倉ノ谷	2	95	2	76	3	68
中村町	3	246	0	0	0	0
三木里	3	276	0	0	0	0
古江	4	467	19	549	0	0
梶賀	2	100	4	68	0	0
坂場	3	280	6	68	0	0
曾根	1	22	2	79	0	0
九鬼	1	165	3	141	0	0
宮ノ上・座ノ下	3	169	3	72	4	231
泉	3	151	0	0	0	0
新田	3	283	0	0	0	0
なみき	3	587	0	0	0	0
天満	3	150	2	43	0	0
今年度	訪問	16 地区	延べ 41 回		延べ 3,786 名	
	サロン	11 地区	延べ 45 回		延べ 1,200 名	
	世代間	3 地区	延べ 8 回		延べ 359 名	
前年度	訪問	17 地区	延べ 43 回		延べ 4,067 名	
	サロン	10 地区	延べ 40 回		延べ 1,195 名	
	世代間	4 地区	延べ 8 回		延べ 655 名	



(2) おしゃべりほのぼのサロン

高齢者の生きがいづくり・見守り支援を目的とした高齢者サロンを当会職員とボランティアの協力で実施した。

延べ参加人数実績

(単位：人)

地区 人数	尾鷲	九鬼	早田	須賀利	合計
参加人数	54	65	36	56	211
前年度人数	62	78	60	49	249



(3) 友愛訪問活動（尾鷲市老人クラブ連合会実施主体）へ助成金を支援した。

各会長、役員、会員が高齢者等の家庭を訪問し、安否確認と日常生活について話した。

訪問対象者人数 424名（前年度563名）

助成金額 24団体 168,000円

## 14. 広報・啓発事業

### (1) 尾鷲市社会福祉大会の開催（尾鷲市との共催）

尾鷲市の福祉に貢献された方を顕彰し、福祉の啓発と活動の周知を行った。

開催日：令和元年11月23日（土）

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：109名

内 容：第一部 顕彰

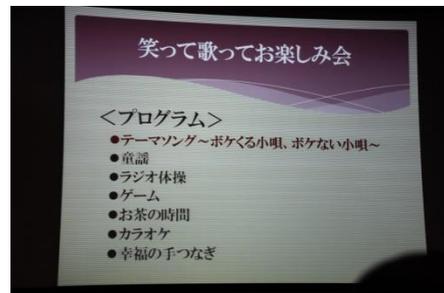
尾鷲市市長表彰 15名

尾鷲市社会福祉協議会会長表彰 14名

第二部 福祉作品コンクール表彰 16名

実践発表『笑って歌ってお楽しみ会 活動紹介』

庄司はつめ氏、大川眞子氏、大川敏子氏



### (2) 広報誌「おわせ社協」の発行

事業の周知と福祉の啓発を目的に、全世帯に向けた広報誌を年間4回（5月・7月・10月・3月）発行した。

## 15. 社協賛助会員制度

会員制度による住民参加、地域福祉活動の充実を目標に、当会役員、民生委員児童委員、地区福祉委員会などの協力・連携により、賛助会費の募集を行い地域福祉活動の財源確保に努めた。

（単位：円／件）

	令和元年度		平成30年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
賛助会員	1,351,000	1,178	1,384,000	1,191	▲33,000	▲13
特別会員	385,000	46	340,000	42	45,000	4
総数	1,736,000	1,224	1,724,000	1,233	12,000	▲9



- ・第2回 開催日：令和元年10月28日（月）  
内 容：知って納得！認知症サポーター養成講座  
講 師：地域包括支援センター職員  
参加者：24名
- ・第3回 開催日：令和元年11月15日（金）  
内 容：聞いてみよう！ささえ合い活動  
講 師：四日市市曾井町『暮らしの応援隊』代表 坂倉靖夫氏他  
参加者：26名
- ・第4回 開催日：令和元年11月29日（金）  
内 容：地域で考えるこれからのささえ合い  
講 師：皇學館大学現代日本社会学部准教授 大井智香子氏  
参加者：28名

(5) 新たな生活支援サービスの開発・検討

第1期わがらの町の暮らしささえ合い塾修了者を対象に、生活支援活動の開発を目的として、「わごころ会議」を開催した。

- ・開催日：令和元年7月25日（木）～令和2年2月7日（金）  
計 4回
- ・内 容：今後必要な生活支援活動に関する意見交換  
住民主体でできそうな活動の検討  
できそうな活動（サロン活動、生活支援）について考える①～②

(6) 地域支え合い応援隊会議の開催

- ・第1回 開催日：令和元年5月21日（火）  
内 容：移動支援に関する意見交換
- ・第2回 開催日：令和元年9月27日（金）  
内 容：わごころ会議の進捗および  
生活支援コーディネーター活動報告
- ・第3回 開催日：令和2年1月23日（木）  
内 容：わごころ会議、生活支援サポーター養成講座の報告

17. 尾鷲市共同募金委員会運営の支援

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者と共に、募金活動を実施した。

- ① 一般募金運動（期間：令和元年10月1日から令和2年3月31日）

募金実績

（単位：円）

	令和元年度	平成30年度	前年比較
目標額	2,596,200	3,014,300	▲418,100
実績額	2,632,242	2,681,743	▲49,501
達成率	101.39%	88.97%	-

募金種別による内訳

(単位：円/件)

	令和元年度		平成30年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	1,441,303	3,390	1,529,053	3,361	▲87,750	29
法人募金	620,000	102	675,000	110	▲55,000	▲8
街頭募金	89,356	5	96,184	5	▲6,828	-
学校募金	194,169	10	117,973	10	76,196	-
職域募金	138,532	22	140,624	28	▲2,092	▲6
イベント募金	62,655	7	63,888	9	▲1,233	▲2
個人募金	33,015	4	14,384	3	18,631	1
その他	53,212	22	44,637	24	8,575	▲2
合計	2,632,242	3,562	2,681,743	3,550	▲49,501	12

18. 日本赤十字社三重県支部尾鷲市地区事務局

(1) 社資増強運動（日赤募金）の実施

令和元年5月1日より1ヵ月間、日赤三重県支部尾鷲市地区として日赤奉仕団（尾鷲市婦人の会連絡協議会）、自治会等の協力を得て、募金運動を実施した。

募金実績

(単位：円)

	令和元年度	平成30年度	前年比較
目標額	2,691,000円	2,775,000円	▲84,000円
実績額	2,247,733円	2,384,358円	▲136,625円
達成率	83.5%	85.9%	-

(2) 災害救援物資の配布（日本赤十字社救援事業）

令和元年10月18日豪雨により市内に床上・床下浸水が発生した。そのうち、居住していた床上浸水世帯に対し、以下の通り配布した。

救急セット 6個 毛布 7枚



## Ⅱ 生活支援課

### 生活支援係

#### 1. 総合相談

##### (1) 総合相談事業

###### ① 総合相談事業

「だれもが安心して生活できるまちづくりを進めていく」という本会理念のもと、相談者の困りごとに寄り添い、各課・関係機関と連携し、相談に対応した。

##### (ア) 相談実績

相談件数：67件（相談者の属性や内容に重複あり）

（単位：件）

属性	今年度	前年度
困窮者	53	36
高齢者	5	12
障がい者	5	4
その他	4	0

（単位：件）

相談内容	今年度	前年度
自立生活に関する事	12	10
家計管理に関する事	11	23
貸付に関する事	20	16
借金・滞納に関する事	12	5
成年後見制度に関する事	2	7
日常生活自立支援事業の利用	4	9
消費生活に関する事	1	1
虐待・権利侵害に関する事	2	1
生活支援に関する事	10	13
地域・人間関係に関する事	9	6
仕事に関する事	6	5
引きこもりに関する事	3	2
その他	7	5

#### 2. 生活再生相談事業

##### (1) 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

生活に困りごとや不安を抱えている方から相談を受け、どのような支援が必要かを一緒に考え、計画的に生活困窮状態から脱却するための支援を行った。

① 相談対応

(単位：件)

	今年度	前年度
相談件数	64	36
支援計画策定	26	9
のべ対応 (支援申込み前含む)	650	569

(単位：件)

対応内容	今年度	前年度
電話相談	290	279
訪問・同行支援	125	89
面談	166	152
所内会議	35	0
支援調整会議（プラン策定・評価）	22	18
その他関係機関との会議	1	3
関係機関との照会・協議	8	21
その他	3	7

② 支援体制の構築

(ア) 周知啓発活動

- ・ 児童扶養手当支給世帯への周知
- ・ 年金受給者への周知
  - ・ 年金支給日の早朝各金融機関 ATM 前での周知活動  
開催日：令和元年 6 月 14 日、12 月 13 日
- ・ 関係機関窓口でのチラシ・ポケットティッシュの設置
  - ・ 郵便局 2 店舗、銀行 4 行 8 店舗、市役所 5 課、尾鷲総合病院、コミュニティセンター 3 ヶ所、尾鷲商工会議所、尾鷲市社会福祉協議会
- ・ 民生委員児童委員協議会 12 月定例会で周知

(イ) 出張相談会の開催

- ・ 南輪内地区(令和元年 11 月 6 日) 相談者 0 人
- ・ 九鬼地区(令和元年 11 月 7 日) 相談者 0 人

(ウ) 関係機関との会議

- ・ 市役所各課との連絡会議  
開催日：令和元年 8 月 5 日  
担当課：税務課、教育委員会、建設課、市民サービス課、水道部、尾鷲総合病院、福祉保健課子育て支援係

- ・ 東紀州地域依存症ネットワーク会議  
開催日：令和元年9月26日  
出席者：三重県こころの健康センター、三重ダルク、三重断酒新生会、東紀州管内の県事務所、警察、消防、市町、社協、熊野病院、障がい者相談支援センターありす、障がい者総合相談支援センター結、県生活相談支援センター
- ・ フードバンクマッチングワークショップ(令和元年10月8日)

(エ) 企業訪問

市内4事業所を訪問し見学を行った。

- ・ 株式会社鷺洋
- ・ 北村商店
- ・ 尾鷲物産株式会社
- ・ 関西プロパン瓦斯株式会社

(オ) 支援調整会議（開催回数：11回）

(2) 家計改善支援事業（市受託事業）

生活困窮者のうち、家計管理に問題がある方を対象に、家計状況の見える化、そして生活再建プランを作成し、相談者自ら家計を管理できるよう経済的自立を支援した。

① 相談対応

（単位：件）

	今年度	前年度
相談件数	39	23
支援計画策定	15	9

② 対象者が抱える課題（支援決定者のみ）

（単位：件）

	今年度	前年度
税金の滞納	9	5
医療費の滞納	5	2
公共料金の滞納	8	6
債務（銀行や消費者金融など）	12	7
家計管理の問題	14	7
低所得	9	9

(3) 被保護者就労支援事業（市受託事業）

生活保護受給者を対象に、就労自立に向けた支援を行った。

① 相談対応

（単位：件）

	今年度	前年度
相談件数	6	7
のべ対応	140	140

② 対応結果

（単位：件）

	今年度	前年度
常勤就労	0	0
パート就労	0	0
福祉的就労	0	2

(ア) 関係機関との会議

- ・ 令和元年度稼働能力判定会議  
開催日：令和元年7月18日  
出席：市福祉保健課・社協から5名が出席
- ・ 令和元年度被保護者就労支援打合せ会議  
開催日：令和元年7月26日  
出席：尾鷲公共職業安定所・市福祉保健課・社協から5名出席

3. 生活資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（実施主体：三重県社会福祉協議会）の貸付状況

① 令和元年度中の完済件数

（単位：件）

資金種類		件数	前年度
福祉資金	福祉費	1	0
	緊急小口資金	0	1
計		1	1

② 令和元年度中の新規貸付件数

(単位：件)

資金種類		件数	前年度
福祉資金	障がい者自動車 購入費	0	1
	緊急小口資金	0	1
	教育支援資金	1	0
計		1	2

③ 令和元年度末現在の貸付件数

(単位：件)

資金種類		件数	前年度
福祉資金	福祉費	1	2
	福祉費(住宅)	1	1
	障がい者自動車 購入費	1	1
	技能習得費	1	1
	緊急小口資金	3	3
	教育支援資金	13	12
計		20	20

(2) 福祉金庫緊急貸付事業（本会独自事業）の貸付状況

(単位：件)

種類	件数	前年度
完済件数	14	11
新規貸付件数	13	7
不能欠損件数（借受人死亡による）	0	4

① 令和元年度末の貸付件数

(単位：件)

償還の状況	件数	前年度
令和元年度末貸付件数	20	24
定期的に返済している方	3	0
不定期であるが、返済をしている方	0	4
今年度全く返済実績のない方	16	19
償還年月日未到来	1	1

(3) 緊急食料等支給事業

(ア) 緊急的に支援が必要な困窮者世帯に対する食料・ガソリン券等の支給  
 認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋提供の食糧支援件数 19 件  
 本会独自事業の支援件数 4 件

(イ) 株式会社カーブスジャパン カーブスイオンおわせ店より提供された食料の配布  
 カーブスイオンおわせ店が会員から集めた未開封食料の提供を受け、生活困窮者世帯に配布した。 配布件数： 11 件



(ウ) 尾鷲市職員並びに本会職員より提供された食料等の配布  
 生活困窮者への食料提供並びに食品ロス軽減を目的として、尾鷲市職員並びに本会職員に対し食料の提供を呼びかけた。その結果集まった食料等を、生活困窮者世帯に対して配布した。 配布件数： 7 件

#### 4. 権利擁護事業

##### (1) 日常生活自立支援事業

尾鷲市を対象とする全市町实施方式へ移行し1年が経った。地域包括支援センター、障がい者総合相談センター及び関係機関と連携を図り、積極的な対応を心掛けた。また、利用者との信頼関係の構築を継続し、安心・信頼できる適切な金銭管理・福祉サービス利用援助・書類等預かりサービスを実施した。

令和元年度実績

(単位：件)

		認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度※
相談		138	79	322	90	629	746
契約	新規	2	0	0	0	2	5
	解約	1	0	1	0	2	3
	継続	7	2	6	3	18	42

※基幹型社協として紀北地域（尾鷲市・紀北町）を対象としていた為、紀北町の件数も含む。

##### (2) 法人後見・サポート事業

① 制度の利用に関する相談 2件（うち申立て支援0件）

② 受任件数 0件

### Ⅲ 高齢者支援課

#### 地域包括支援センター

##### 1. 包括的支援事業

###### (1) 総合相談支援

###### ① 総合相談窓口の設置

(ア) 高齢者の身近な相談窓口として、相談者が抱える課題に対し、制度やサービスの利用支援・情報提供及び関係機関への紹介を行った。

(イ) 保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職がチームとなり継続的に相談支援を行った。自宅への訪問や関係者からの情報提供を受け、本人の課題に対する支援計画を策定し制度やサービスに繋げた。継続的に本人の状況を確認するとともに評価を行った。

(単位：件)

内 訳	介護・日常生活	サービス利用	医療	所得	苦情	権利擁護	その他	合計
件数	502	169	21	9	8	14	7	730

(前年度相談受付件数： 627 件)

###### ② 地域包括支援センターの周知

「社協だより」への掲載 2回 前年度2回

「包括だより」の発行 2回 前年度3回

「社協ホームページ」の更新及び認知症ケアパスの掲載



###### ③ 輪内ランチの運営

輪内高齢者サービスセンターに設置した輪内ランチで、地域の高齢者の福祉・介護の総合相談窓口として対応した。

## (2) 権利擁護業務

### ① 高齢者虐待への対応・防止

#### (ア) 高齢者虐待相談窓口の設置

尾鷲市福祉保健課と協働し、高齢者虐待ケースへの対応を行った。  
相談窓口の設置、自宅訪問や関係者から情報を収集、コア会議による虐待の有無や緊急性を判断し、解消に向けた対応を行った。

#### (イ) 高齢者虐待相談の受理

受理件数 6 件（うち認定 5 件、前年度認定件数 1 件）

（単位：件）

内 訳	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄
件 数	3	3	1	0	2

### ② 福祉制度の活用

#### (ア) 日常生活自立支援事業の活用

日常生活自立支援事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った。

#### (イ) 成年後見制度の活用

成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋等）を行った。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント

### ① 地域ケア会議・地域包括ケア会議の開催

#### (ア) 地域ケア会議

個別困難事例を関係者が検討することで、課題の共有と支援の方向性を確認し、ケアマネジメント支援を協働で行った。また、地域課題の把握に繋げた。  
(10 件 前年度 4 件)

#### (イ) 地域包括ケア会議

尾鷲市から委嘱された福祉・保健・医療・介護などの関係者が、個別事例から把握された共通の地域課題を検討し、地域づくり・資源開発、政策形成へと繋げる地域包括ケアシステムの構築を目指した取り組みを行った。

	開催日	参加人数	内 容
第 1 回全体会議	6 月 20 日	25 名	地域包括ケア会議の現状と今後について 意見交換会（グループワーク）
第 2 回全体会議	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため文書報告とする。		個別ケース報告（2 事例） 認知症ささえあいボランティアについて

② 居宅介護支援事業所連絡会議の開催

居宅介護支援事業所連絡会議において研修会等を開催しケアマネジメント技術を高め、関係機関と連携して高齢者を支援する取り組みを行った。

居宅支援事業所連絡会議

3回開催

	開催日	参加人数	内 容
第1回	7月12日	23名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「VDT作業」 講師：三重県立看護大学 斎藤 真 教授</li> <li>・「高齢者に対する振り込め詐欺」 尾鷲警察署 生活安全課係長 横井 正人 氏</li> <li>・「福祉的就労事業」 障がい者支援センター「結」 宮本 忠明</li> </ul>
第2回	11月14日	22名	「緩和ケア療養に係る介護保険制度」 講師：七栗記念病院 社会福祉士 下村 康氏
第3回 (紀北町 合同)	1月30日	29名 (尾鷲市)	在宅医療・介護連携に関する「事例検討会」 在宅事例2件 紀北医師会共催

(前年度開催回数：4回)



(第2回研修会)



(第3回事例検討会)

③ 居宅介護支援事業所ケアマネジャー支援

市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの相談に対応した。

令和元年度 88件 前年度 75件

(4) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

要支援者及び事業対象者が介護状態となることを予防し、または維持するために適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行った。

① 要支援者への介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護保険を申請して要支援1、2と認定された方。

- ② 介護予防・生活支援サービス事業対象者への介護予防ケアマネジメント  
事業に参加を希望された 65 歳以上の方で尾鷲市、地域包括支援センター  
等が実施した基本チェックリストにより総合事業の対象となった方。

予防プラン作成および給付管理数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護予防 支援	自機関	26	24	26	31	32	29	
	委託	21	23	24	24	25	27	
	合計	47	47	50	55	57	56	
介護予防 ケアマネ ジメント	自機関	85	89	91	84	81	84	
	委託	42	41	39	39	38	43	
	合計	127	130	130	123	119	127	
総合計		174	177	180	178	176	183	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防 支援	自機関	29	29	26	26	27	29	334
	委託	27	29	29	30	31	31	321
	合計	56	58	55	56	58	60	655
介護予防 ケアマネ ジメント	自機関	84	82	81	80	79	79	999
	委託	46	45	46	46	44	42	511
	合計	130	127	127	126	123	121	1510
総合計		186	185	182	182	181	181	2165

(介護予防支援前年度合計：2,047 件)

(5) 認知症施策の推進

① 認知症初期集中支援チームの運営

(ア) 支援チームに関する普及活動

地域住民や関係機関・団体に対し、支援チームの役割や機能について広報活動や協力依頼を行った。

(イ) 認知症初期集中支援チーム員会議の開催

認知症専門医や医療・福祉の専門職がチームとなり、認知症が疑われる人や認知症の人を早期に発見し、家族の同意のもと包括的・集中的に適切なケアを行った。

初期集中支援チーム員会議による支援 4 件

初期集中支援チーム員会議の開催 4 回

訪問回数 22 回 調整回数 86 回

その他、初期集中支援チーム員が相談対応し、地域包括支援センターでの支援に移行 12 件

(ウ) 認知症初期集中検討委員会の開催

認知症初期集中チームの業務や実施状況の報告を書面で送付した。

(新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により検討委員会中止)

② 認知症地域支援推進員の設置

(ア) 認知症ケアパスの配布・活用

本人や家族が認知症について正しい知識をもち、医療・介護・地域資源のサポートを活用しながら、安心して暮らせるよう症状、本人の状態に応じて受けられるサービス、認知症の方への接し方などの情報をとりまとめた「認知症ケアパス」を活用し、介護者への配布や認知症カフェなどで啓発・周知を行った。

(イ) 認知症カフェの運営

認知症の理解を地域全体で深め、認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域住民などが気軽に集まることが出来る場所作りを行った。

	開催日	参加人数	場 所
第1回	5月16日	23名	三木里町 三木里海岸
第2回	6月4日	8名	栄町 福祉保健センター1階ロビー
第3回	10月8日	26名	九鬼町 移住体験施設みやか
第4回	10月31日	21名	三木里町 三木里海岸
第5回	12月3日	10名	朝日町 おわせ暮らしサポートセンター
第6回	12月10日	14名	九鬼町 移住体験施設みやか
第7回	2月13日	15名	三木里町 三木里コミュニティーセンター
第8回	2月20日	10名	九鬼町 移住体験施設みやか
合計		127名	



(三木里町)



(九鬼町)



(朝日町)

(ウ) 認知症サポーター養成講座

	開催日	参加人数	対象者
第1回	4月23日	13名	九鬼地区地域住民
第2回	6月17日	18名	尾鷲高校選択科目「家庭看護」受講生
第3回	7月4日	16名	シニア生き生きチャレンジ教室受講生
第4回	9月2日	13名	尾鷲郵便局職員
第5回	10月11日	19名	輪内中学校生徒（全学年）
第6回	10月28日	23名	わがらの町のくらし支え合い塾 受講生
第7回	1月17日	16名	明治安田生命尾鷲営業所職員
第8回	2月15日	105名	尾鷲中学校生徒（2年生）
合計		223名	

（前年度参加人数：179名）



（第4回養成講座）



（第5回養成講座）

(エ) 認知症サポーターフォローアップ研修の開催

認知症サポーター養成講座を受講したのち、さらに専門的・実働的な知識を深める研修を開催した。

●第1回研修会

開催日：令和元年12月5日

場 所：尾鷲市中央公民館1階視聴覚室

参加者：41名

内 容：認知症の人にやさしい町づくり

講 師：三重県立看護大学

教授 六角僚子 氏 助教授 篠原美咲 氏



（第1回研修会）

●第2回研修会

開催日：令和2年1月31日（主催：三重県・尾鷲市）

場 所：尾鷲市民文化会館小ホール

参加者：54名

内 容：発表『尾鷲市における認知症カフェの現状』

尾鷲市地域包括支援センター

講演① 若年性認知症について

講演② 認知症高齢者へのケア

講師：①三重県若年性認知症支援コーディネーター 伊藤 美知 氏  
若年性認知症本人の会 「レイの会」

②鈴鹿医療科学大学 教授 田中 和奈 氏

(オ) 尾鷲市高齢者等 SOS ネットワーク事業への協力

徘徊や行方不明になる恐れのある認知症高齢者の家族に対して、尾鷲市が実施する高齢者等 SOS ネットワーク事業への登録を促した。行方不明者が発生した場合は、尾鷲市と連携し、協力団体とともに行方不明者捜索に協力した。

(カ) 認知症地域勉強会の開催

認知症専門医の協力を得て、地域の住民に認知症の正しい理解を啓発するための講座を開催した。

開催日：令和元年 12 月 19 日

場 所：梶賀コミュニティセンター（はらそ）

参加者：26 名

内 容：認知症の正しい理解

講 師：橋爪 眞言氏（橋爪クリニック 院長）



(キ) 出前講座の開催

3 回開催

開催日	内 容	参加人数	依頼先
4 月 23 日	地域包括支援センター、介護保険 認知症予防の講話・脳トレーニング	28 名	紀北地区高齢者退職者福祉共済会
10 月 21 日	介護予防の講話・体操、介護予防レク	6 名	大曽根コミュニティセンター
10 月 21 日	介護予防の講話・体操、介護予防レク	3 名	向井コミュニティセンター

(前年度開催回数：3 回)



(紀北地区高齢者退職者福祉共済会)



(大曽根コミュニティセンター)

## 2. 任意事業

### (1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員2名が4回参加した。

### (2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神的負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会や介護技術講習会等を開催した。

#### ① 介護者の会の開催

参加人数 32 名

	開催日	参加人数	内 容
第1回	5月22日	5名	おしゃべり会 in 三木里海岸 講師：濱口 敦子氏 (NPO 法人 HEART TO HEART)
第2回	7月9日	7名	簡単クッキング～夏メニュー編～ 講師：小川 早知子氏 (栄養士)
第3回	9月18日	4名	おしゃべり会 in 熊野古道センター 講師：濱口 敦子氏 (NPO 法人 HEART TO HEART)
第4回	11月6日	13名	介護実技講習会 講師：ユマニテク福祉大学校 伊藤 幾代氏
第5回	1月29日	3名	フラワーアレンジメント講座・交流会 講師：川端 章子氏

(前年度参加人数：71名)



(おしゃべり会 in 三木里)



(介護実技講習会)

### (3) 福祉用具・住宅改修支援事業

#### ① 福祉用具の利用支援

福祉用具の利用についての助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者 12名 前年度 16名

#### ② 住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成を行った。

住宅改修利用支援 42名 前年度 38名

### 3. その他

#### (1) 各種研修会への参加

- 「認知症初期集中支援チーム」チーム員研修への参加 1名
- 「認知症地域支援推進員初任者」研修への参加 2名
- 「認知症地域支援推進員現任者」研修への参加 2名
- 紀北在宅医療介護連携多職種事例検討会への参加
- 自立支援型地域ケア会議への参加

#### (2) 各種会議への参加

- 地域密着型サービス運営推進会議
  - 通所介護事業所運営推進会議
  - グループホーム運営推進会議
  - 小規模特別養護老人ホーム運営推進会議
- 地域包括支援センター運営協議会（2回）
- 東紀州地域包括支援センター連絡会議（1回）
- 尾鷲市地域精神保健福祉危機対応ネットワーク会議（1回）
- 養護老人ホーム聖光園入所判定委員会
- 在宅医療介護連携推進作業部会・幹事会
- 認知症施策作業部会
- 介護予防・日常生活支援総合事業作業部会
- 生活支援体制整備事業作業部会

## IV 障がい支援課

### 紀北地域障がい者総合相談支援センター結

---

#### 1. 紀北圏域障がい者地域生活支援事業

##### (1) 相談支援事業

住みなれた地域で安心した暮らしを継続し、障がいの有無にかかわらず互いに人格や個性を尊重しあいながら共生する社会の実現という総合支援法の理念に基づいた相談支援を行った。また、地域での生活を継続するために、障害福祉サービスや地域支援事業などをライフステージに応じて利用できるよう支援を行った。

令和元年度の相談実人数は 265 人であった。支援内容については、福祉サービスの利用に関する支援が多い。自分の意向や希望する生活を実現し地域での生活を続けるために、自分にとって必要なサービスについて知りたいためと思われる。就労に関する相談は専門相談として障がい者就業・生活支援センターが担っている。すぐに就労につながらないケースについては両センターそれぞれの担当が情報共有し連携して支援を行っている。社会参加・余暇活動に関する支援が増加しており、地域での生活を継続するだけでなく、やりがいや楽しみを持って生活したいという希望の表れだと思われる。

昨年度に引き続き、圏域内に新たに障害者共同生活援助（障がい者グループホーム）が開設され、住み慣れた地域を離れることなく生活が継続出来るようになった。グループホームへの後方支援を行い、新しい支援機関が地域で定着できるように協力した。

金銭管理が上手くできず生活に支障が生じるケースが多く、相談も増えている。日常生活自立支援事業や生活相談支援事業と連携しながら支援を行った。独居の方や家族の協力が得られない方も増加しており今後の支援体制も課題となる。また、虐待や人権侵害が疑われるケースもあり、個人として尊厳される共生社会の実現に向けての地域づくりも課題である。

① 障がい別 年間相談者実数（児・者） （単位：人）

区分	実人員	身体	重症 心身	知的	精神	発達	高次脳機 能	その他
尾鷲市	131	19	2	63	38	3	0	7
紀北町	134	8	1	79	40	2	0	4
計	265	27	3	142	78	5	0	11

② 支援方法別 相談延べ件数 （単位：件）

区分	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	関係 機関	個別支援 会議	その 他	計
尾鷲市	1.044	664	121	1.070	22	169	423	254	3.767
紀北町	1.113	413	119	727	2	227	281	67	2.949
計	2.157	1.077	240	1.797	24	396	704	321	6.716

③ 支援内容（延べ件数） （単位：件）

内容	延べ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	3.735	2.067	1.668
障害者症状の理解に関する支援	139	61	78
健康・医療に関する支援	330	234	96
不安の解消・情緒安定に関する支援	338	224	114
保育・教育に関する支援	103	58	45
家族関係・人間関係に関する支援	194	151	43
家計・経済に関する支援	329	192	137
生活技術に関する支援	51	39	12
就労に関する支援	370	97	273
社会参加・余暇活動に関する支援	861	487	374
権利擁護に関する支援	74	7	67
その他	192	150	42
計	6.716	3.767	2.949

## (2) 紀北地域協議会の運営支援

第4期紀北地域障がい者福祉計画及び第5期尾鷲市・紀北町障がい福祉計画に基づき取り組みを行った。こころ部会、就労部会、地域生活支援拠点部会を各年2回開催し、それぞれ年間テーマを決め活動を行った。

### 令和元年度 紀北地域協議会部会活動

部会名	取組内容
こころ部会	<p>テーマ：「精神科病院や入所施設からの地域移行」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅援護事業の継続実施と考察。尾鷲市2名、紀北町1名が利用。買い物や墓参り、地域で行っているサロン活動に参加した。</li> <li>○入所の入り口の見直し。現在入所申請している方の障がい程度や利用しているサービスなどから、「何があれば入所せず、地域で暮らすことができるのか」を検討。</li> <li>○三重県開催の地域移行についての専門研修の伝達</li> <li>○実際に精神科病院から地域移行した方、現在施設入所している方10名に、地域移行アセスメントシートを使って聞き取りを行い部会メンバーで考察をした。</li> </ul>
就労部会	<p>テーマ：「一般就労の拡大や新しい就労形態づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農福連携：三重県社会福祉協議会の地域福祉活動ステップアップ支援事業と協働し、からし菜栽培の実施。</li> <li>○代行作業：高齢者の方への「お助けマン」と障がい者の方への「就労のとびら」を開くマッチング事業</li> </ul>
地域生活支援拠点部会	<p>テーマ：「地域生活支援拠点の整備」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他圏域の取り組みを知るための勉強会 「紀南圏域における地域生活支援拠点整備の取り組みについて」</li> <li>講師：御浜町役場 健康福祉課 野地本 将永氏</li> <li>○地区踏査を行い、地域の現状及び課題の把握を行った。</li> </ul>

## (3) ピアサポーター活動支援

「共通の経験と関心をもつ仲間同士の相互支援」を基本とするピア活動に取り組んだ。尾鷲市林町会館と東長島公民館で、月2回行う「すずらんサロン（日中の居場所作り）」を中心に活動を行った。サロンでは参加者同士で話し合いをし、メニューを決め、協力・分担して昼食作りを行った。地域での生活をより豊かなものとするために、社会との接点や体験の機会を持てるよう話し

合いを行い、自分たちで外出計画をたて、くじら博物館見学や大内山乳業工場見学を行った。延べ人数で尾鷲市 57 人、紀北町 21 人、合計で 78 人の参加があった。

尾鷲市身体障がい者互助会の活動支援では、会員間の親睦交流の機会として豪商のまち 松阪巡りを行った。



## 2. 障害者就業・生活支援センター事業

国の雇用安定等事業である就業・生活支援センター事業では、障がい者の雇用の安定や実習先の開拓に取り組んだ。一般就労 23 人、職場実習 27 件の実績があった。今年度は職場訪問に力を入れ、企業との連携を行った結果、定着率が去年を上回り 77.8%となった（H30 - 73.4%）。

また、昨年度に引き続き、実習にも力を入れたことで、実習の受け入れをしてくれた企業で雇用につながったケースがあった。実際に働く姿を見ることは、障がい者への理解に繋がり、障がい者雇用への広がりにも繋がった。

在職者を中心として交流会（ワークわくわく）を 4 回開催し、就労に必要な心構えや働き続けるために必要なことを学んだ。

また令和元年度は鳥羽市、志摩市、度会郡を担当していた事業者が撤退した事で、当該地区の就労支援事業も担当した。土地勘のない地域であるので、各市町行政や企業、作業所、ハローワーク等、関係機関とケースの情報共有を図り、連携しながら支援体制の構築を目指した。各市町に出向く巡回相談日を決めて、相談に当たると共に、鳥羽志摩地区での課題として、少子高齢化による漁業従事者の不足があり、そうした背景の中で、地域の産業と福祉の連携を行い、地域の活性化に貢献できるよう水福連携に取り組んだ。なお鳥羽市、志摩市、度会郡を担当する就労支援事業については、令和元年度のみである。

紀北圏域・鳥羽、志摩圏域相談件数

就労登録者

(単位：人)

登録者数	新規	継続	合計
	100	153	253
内訳 身体障がい	22	25	47
知的障がい	36	79	115
精神障がい	40	44	84
その他	2	5	7

令和元年度の就労実績

(単位：人)

障がい種別 1週間の 勤務時間数	障がい種別					計
	身体	知的	精神	その他		
一般（30時間以上）	3	0	7	1	11	
20時間以上 30時間未満	5	10	4	0	19	
20時間未満	4	1	2	0	7	
計	12	11	13	1	37	

圏域別一般就労実績

(単位：人)

区分	合計	(内訳)				
		身体	知的	精神	その他（発達）	
紀北圏域	23	7	9	7	0	
内 訳	尾鷲	14	6	6	2	0
	紀北	9	1	3	5	0
鳥羽・志摩圏域	14	5	2	6	1	
計	37	12	11	13	1	

相談支援件数（内容別）

(単位：件)

内容	身体	知的	精神	その他	計
就職に向けた相談支援	145	506	384	19	1,054
職場定着の為の相談支援	148	313	159	0	620
日常生活に関する相談支援	52	349	111	1	513
就業と生活に関する相談支援	0	8	3	0	11
計	345	1,176	657	20	2,198

相談支援件数（手段別） (単位：件)

センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	313
電話・ファックス・E-mail 等	864
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	399
家庭・入所施設への訪問	158
その他（ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等）	464
計	2,198

令和元年度 在職者交流会（ワークわくわく） (単位：人)

開催日	内容	参加人数
第1回 令和元年5月25日	就労に必要な心構え 障がい者雇用のメリット	11
第2回 令和元年6月30日	サイコロトーク（働く・生活・友人・家族・障がい）	18
第3回 令和元年9月27日	身体測定 自分の体力を知ろう グループワーク「職場での休憩時間の過ごし方」	8
第4回 令和元年12月7日	働き続けるために必要なことを考えよう	12



### 3. 障がい者社会参加促進事業及び生活支援事業

#### (1) フラワーアレンジメント教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。講師 池田比早子氏

開催 11 回 延べ参加人数 183 人（尾鷲市 93 人 紀北町 90 人）

(2) 音楽教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。「癒やしの会」主催で音楽療法士福田先生に依頼して実施。

開催 9 回 延べ参加人数 103 人（尾鷲市 69 人 紀北町 34 人）

(3) 歩行訓練

視覚障がい者に対して歩行訓練やパソコン・点字の指導を行う。

開催 12 回 視覚障がい者 2 人 延べ参加人数 22 人

(4) はあと畑

毎週月曜日、会員の昼食を作り、尾鷲市福祉保健センター1階ロビーを利用し、障がいのあるメンバーが接客を行いながら就労体験をする。30 回開催

(5) 尾鷲市ふれあいスポレク祭 2019 の開催

令和元年 6 月 29 日開催

障がい者 65 人 ボランティア 11 団体 40 人

福祉協力校 7 校 64 人 その他 20 人 合計 189 人

(6) その他

紀北町生活交流会・ふれあいスポーツ大会、くろしお学園おわせ分校学習発表会・運動会等に参加した。



**4. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業**

障がい福祉サービス利用に必要な計画作成を行った。本人の思いを引き出し、サービス利用だけでなく、これからの生活についても一緒に考えながら支援を行った。また、研修を受講し、要医療児者支援加算、特定事業所加算Ⅲが算定できるようになった。

特定相談支援 障害児相談支援 (単位：件)

	利用計画	継続支援
尾鷲市	94	270
紀北町	79	239
圏域外	6	29
計	179	538

支援方法別 相談延べ件数 (単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話等 相談	その他	計
尾鷲市	744	173	20	535	200	1,672
紀北町	796	56	27	346	189	1,414
計	1,540	229	47	881	389	3,086

## 5. 地域福祉活動ステップアップ支援事業

障がい者だけでなく、生活困窮者や引きこもりがちな方を含めた新しい就労形態作りに、三重県社会福祉協議会が行う地域福祉活動ステップアップ支援事業を活用し取り組んだ。

代行作業では、自分が役に立つという存在意義、自己実現の効果があり、参加者の中から2名の方が企業に就職することができた。

農福連携では、昨年度からのからし菜の栽培に加え、ニンニク栽培とイチゴ栽培に取り組んだ。地域の方やボランティアの協力を得て活動に取り組み、一般就労を目指す方だけでなく、様々な環境から引きこもっていた方も作業に参加した。企業の職員研修の場にしたい等、障がい理解や共生社会に繋がる一歩にもなった。



## V 居宅介護支援課

### 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居宅での介護サービスやその他の福祉サービス、保健医療サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立場でその有する能力に応じて、自立した生活を送るための公正中立な支援を行った。

#### 1. 職員体制

主任介護支援専門員 2 名 介護支援専門員 5 名

#### 2. 業務内容

1. 管理者を中心とした組織づくりでスムーズな事業運営
2. 利用者や家族の在宅における生活意向を考慮したケアプランの作成
3. 他職種との連携
4. 医療機関との連絡、連携
5. 介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
6. 国保連への給付管理及び介護報酬の請求
7. 住宅改修の支援
8. ケアプラン事業への参加（紀北広域連合主催）
9. 介護認定調査の委託（受託事業）

#### 3. 居宅サービス計画依頼実績

（単位：人）

	令和元年度	前年度
居宅新規	96	63
居宅終了	55	35
※内訳（死亡）	28	15
（入所）	20	14
（移動）	7	6
予防給付 新規	2	3

#### 4. 月別請求額

◇居宅介護

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	167	168	170	163	171	166
収入額	2,626,460	2,675,590	2,677,750	2,568,540	2,689,430	2,588,330

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
177	186	186	192	190	196	2,132
2,763,480	2,944,500	2,921,640	3,014,400	2,986,260	3,137,960	33,594,340

(前年度) 利用者人数 1,986人 収入額 31,257千円

◇介護予防支援費

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	3	4	4	4	3	3
収入額	15,400	19,700	17,200	17,200	12,900	12,900

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	4	5	5	4	3	45
12,930	17,240	21,500	21,500	17,240	12,930	198,640

(前年度) 利用者人数 32人 収入額 140千円

◇介護予防ケアマネジメント費

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	6	6	6	6	6	7
収入額	28,300	25,800	25,800	25,800	25,800	32,600

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	6	5	4	4	3	65
25,860	25,860	21,550	17,240	17,240	12,930	284,780

(前年度) 利用者人数 62人 収入額 271千円

#### 5. ケアマネジメントの質の向上を図る

①週1回 居宅事務所内でのミーティングを実施

- ・サービス提供にあたっての留意事項
- ・困難事例ケース検討会

②居宅介護支援連絡会や外部研修会へ参加し、ケアマネージャーとしての意識向上、援助技術のスキルアップを行った。

## VI 訪問介護事業課

### 訪問介護事業所

「いつまでも自宅で過ごしたい」との思いに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活上必要な支援を行った。

#### 1. 訪問介護・総合事業訪問型サービス(介護保険)

介護等が必要な方を対象に、ホームヘルパーが自宅を訪問し身体介護や生活援助のサービスを提供した。要介護者、要支援者ともに利用人数は増加したが、単価の低いサービスの利用が多かったため、収入額は減少した。

##### (1) サービス内容

- 身体介護：食事介助、通院介助、入浴介助、排泄介助、体位変換  
その他の身体介護
- 生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- 身体介護と生活援助の組み合わせ
- 通院等のための乗車または降車の介助

##### ◇訪問介護月別実績

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	96	94	95	88	98	92
収入額	4,086,750	4,125,320	3,957,140	4,059,170	3,983,810	3,693,780
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
95	97	94	94	94	97	1,134
3,643,440	3,785,840	3,861,800	3,408,480	3,320,410	3,988,090	45,914,030

(前年度) 利用者人数 1,048人 収入額 47,421千円

##### ◇総合事業訪問型サービス月別実績

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	21	28	25	25	24	25
収入額	270,850	450,420	379,390	330,950	310,570	293,780
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	25	28	26	26	23	301
335,080	341,250	350,240	315,340	303,350	291,800	3,973,020

(前年度) 利用者人数 289人 収入額 4,014千円

## 2. 障害者総合支援事業

障害福祉サービスの提供を障害者総合支援法に基づき行った。居宅介護、同行援護、重度訪問介護、移動支援及び在宅援護の各事業を実施した。重度の利用者の入所に伴い収入額は減少した。

◇月別単位数（実績月）

（単位：人・円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	41	39	41	37	36	41
収入額	1,527,610	1,289,130	1,328,570	1,401,290	1,375,870	1,366,910

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
38	36	39	37	40	31	456
1,368,071	1,403,240	1,460,610	1,332,250	1,316,020	1,354,010	16,523,581

（前年度） 利用者人数 507人 収入額 17,433千円

## 3. 生活支援サービス「あんしん」（保険外サービス）と一般乗用旅客自動車運送事業

生活支援サービス「あんしん」を介護保険外事業の一環として行った。またケアプランに連動した輸送と介護保険外の輸送を一般乗用旅客自動車運送事業として実施した。

◇あんしん月別実績

（単位：人・円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	14	14	14	13	12	14
収入額	55,900	54,000	48,000	44,300	45,200	41,100

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	9	21	15	14	18	171
54,500	30,100	60,200	52,200	45,300	58,200	589,000

（前年度） 利用者人数 107人 収入額 369千円

## ◇運行利用料月別実績

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	90	83	91	85	91	88
収入額	237,470	238,960	250,870	242,210	243,950	218,230

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
91	83	88	84	83	83	1,040
250,010	207,290	235,010	214,400	215,860	238,140	2,792,400

(前年度) 利用者人数 978人 収入額 2,595千円

## 4. 研修会等参加状況

(単位：人)

研修名	参加人数
職員の心得	9
交通安全教室(5月)	30
尾鷲市災害ボランティアコーディネーター啓発講座	8
理学療法士に学ぶ介護技術	23
料理教室	2
尾鷲市災害ボランティアコーディネーター養成講座	9
トランスファーボード研修	11
感染症勉強会	16
文書処理事務研修	11
防災研修会	11
介護実技講習会	4
交通安全講習会(12月)	36
認知症サポーターステップアップ講座	12
現地協働プラットフォーム研修(災害ボランティア)	2
救命講習	13
リーダー育成研修	1
防災ワークショップ	9

## 5. 令和元年度の重点的な取り組み

### (1) 腰痛防止に重点を置いた取り組み

腰に負担をかけないように、トランスファーボードを使用した移乗介助の研修やヘルパー自身のストレッチ方法等を学び、利用者、ヘルパー双方が負担とならない介護ができるよう取り組んだ。



(トランスファーボードを使用した  
ベッドから車いすへの移乗研修)



(ストレッチ方法の復習会)

### (2) 各チームで必要に応じた自主的な研修・研究

必要な介護技術等について、サービス提供責任者を中心に研修・研究を積極的に行った。



(熱中症予防のため経口補水液作り)



(狭い場所での車椅子操作のポイント研修)

### (3) 「てんとう虫くらぶ」(推定歩行年齢測定会) 2年目 開催

昨年度の計測値と比較して創設した「若返ったで賞」等で盛り上がり、多くの職員が楽しく参加した。



(カフェ&お持ち帰りコーナー)



(立ち上がり測定)

## Ⅶ 訪問入浴事業課

### 訪問入浴事業所

#### 1. 訪問入浴・介護予防訪問入浴（介護保険）

尾鷲市唯一の訪問入浴事業所として、住み慣れた自宅で、在宅生活が継続出来るよう、看護師、介護職員、運転手が1チームとなり、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。

利用人数と利用回数が増えたことにより、収入が増加した。

##### (1) サービス内容

- ① 看護師による健康チェック
- ② 浴槽への安全な移動介助
- ③ 衣服の着脱介助
- ④ 入浴介助
- ⑤ 在宅介護相談



##### (2) 訪問入浴の利点

(子供たちのお仕事体験)

- ① 看護師を含む3人での手厚い入浴介護
- ② 寝た状態で入浴が出来るため、身体的負担が少ない
- ③ 徹底した衛生管理
- ④ 入浴介護でリハビリ効果
- ⑤ 温浴により褥瘡の改善を促す

##### (3) 利用者ニーズ

- ① 高台に住居があり、浴室の形状など生活環境に課題を抱えている。
- ② 身体的負担からデイサービスの利用が困難である。
- ③ 利用者、家族が在宅での生活を望んでいる。

◇訪問入浴介護 月別実績

(単位：人・円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	10	10	10	9	12	12
収入額	694,260	612,210	678,610	673,410	721,630	833,620

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	12	11	10	8	9	124
908,280	798,340	742,060	689,710	615,110	625,580	8,592,820

(前年度) 利用者人数 106人 収入額 6,584千円

## Ⅷ 尾鷲通所介護事業課

### 尾鷲社協デイサービスセンター “いきいき”

#### ◎地域密着型通所介護・総合事業

利用者が可能な限り、住み慣れた自宅でその人らしい自立生活を営むことが出来るよう利用者、家族の意向を尊重しながら、楽しく通所することで心身機能の維持・運動機能の向上を目的に以下のサービスを提供した。半日ならではの特色を生かし、短時間で楽しめるデイサービスとしての役割を果たせるよう努力した。

#### サービス内容

- ① 送迎サービス・バイタルチェック
  - ② 脳トレ（パワーポイント使用し、トンチ問題や虫食い問題等全 100 種類以上）
  - ③ 呼吸体操・集団体操・口腔体操・レクリエーション  
（呼吸体操・ストレッチ・タオル体操・ボール運動・セラバンド運動・有酸素運動・重心移動運動・脳トレ交えた手遊び等）
  - ④ 身体の介助・支援（移動介助・見守りなど）
  - ⑤ 日常生活の相談・助言
  - ⑥ 入浴サービス
  - ⑦ 足浴サービス
  - ⑧ 個別運動器機能向上サービス  
（作業療法士による運動メニュー作成）
- ※⑥⑦⑧に関しては選択的サービス



（作業療法士による平行棒の実践）

#### ◇地域密着型通所介護 月別実績 （単位：人・円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	24	20	21	21	22	20
収入額	776,630	715,410	669,630	786,150	780,530	782,410

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	25	21	20	23	22	261
831,610	893,580	773,360	775,260	718,890	801,520	9,304,980

（前年度） 利用者人数 271人 収入額 8,933千円

#### ◇総合事業 月別実績 （単位：人・円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	11	11	12	11	10	13
収入額	288,820	298,630	306,010	292,090	266,030	378,740

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	12	15	13	12	16	148
349,330	355,910	431,390	346,040	349,330	401,710	4,064,030

（前年度） 利用者人数 127人 収入額 3,114千円

## ◎一般介護予防事業（受託事業）

### 一般介護予防教室

尾鷲市から委託を受け、市内在住の65才以上の方を対象とした介護予防の為の教室で、脳トレやレクリエーション、運動等を指導・実践した。

（単位：回・円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催数	14	11	14	18	16	16
収入額	350,400	275,800	350,800	451,200	400,400	400,000

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	18	13	14	15	0	162
327,000	450,800	325,800	353,400	377,400	0	4,063,000

（前年度） 実施回数 149回 収入額 3,737千円

## ◎その他

### 1. 地域密着型運営推進会議

開催日：令和元年9月13日

出席者：運営推進委員、利用者家族、関係機関

内容：事業計画、利用状況、防災訓練・ヒヤリハット事例報告、  
一般介護予防教室の説明、料金表改定等

（新型コロナウイルス感染症の為、年2回開催予定が1回の開催となる。）

### 2. いきいきクリスマス会の開催

開催日：令和元年12月24日

参加者：デイサービス利用者及びボランティアほか 79人

内容：第四保育園児との交流、尾鷲演歌楽団の演奏、レクリエーション等

### 3. 消火訓練・避難訓練の実施



令和元年9月4日（消火訓練・避難訓練）



令和2年3月26日（火災防災訓練）

## Ⅸ 輪内高齢者サービスセンター

### 輪内デイサービスセンター

自立した日常生活を送ることを目標として、引きこもり予防や社会参加および、要支援、要介護、障がい者の方を対象に、日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、介護をしているご家族の負担軽減を図るため、通所介護を実施した。



#### 1. 地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業、障がい者通所介護

《サービス内容》

- ・入浴サービス（機械浴、一人浴、一般浴）
- ・送迎サービス
- ・生活指導（健康チェック、音楽鑑賞、レクリエーション、創作活動）
- ・食事の提供

（月別実績）

##### 【地域密着型通所介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	25人	27人	26人	27人	27人	26人
収入額	¥1,764,966	¥1,759,189	¥1,747,837	¥1,907,333	¥1,956,997	¥1,829,598
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26人	23人	25人	23人	23人	25人	303人
¥1,773,094	¥1,634,785	¥1,779,413	¥1,477,538	¥1,641,195	¥1,765,287	¥21,037,232

##### 【介護予防・日常生活支援総合事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	7人	7人	8人	7人	7人	7人
収入額	¥223,380	¥223,380	¥234,846	¥223,380	¥223,155	¥223,380
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7人	8人	6人	7人	8人	7人	86人
¥207,828	¥242,244	¥189,954	¥196,857	¥242,244	¥207,828	¥2,638,476

##### 【障がい者通所介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用件数	2人	1人	1人	1人	1人	1人
収入額	¥57,240	¥28,620	¥28,620	¥21,470	¥28,620	¥28,620
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1人	1人	1人	1人	1人	2人	14人
¥14,390	¥28,790	¥28,790	¥28,790	¥21,590	¥50,380	¥365,920

(前年度)	利用件数	収入額
地域密着型通所介護	302名	24,011千円
介護予防通所介護	98名	3,270千円
障がい者通所介護	40名	997千円

## 2. 一般介護予防事業

高齢化が急速に進む中、要介護・要支援ではないが、そのおそれがある高齢者向けの要介護予防を目的とした通所型一般介護予防事業（運動器機能向上・うつ・閉じこもり・認知症予防を目的）を尾鷲市より受託し、市内在住で65歳以上の高齢者向けの介護予防を実施し、普及啓発に努めた。

(月別請求額)

### 【一般介護予防】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開催数	18	15	14	16	11	15	
収入額	¥450,000	¥375,000	¥350,000	¥400,000	¥275,000	¥375,000	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	16	12	8	9	10	0	144
	¥400,000	¥300,000	¥200,000	¥225,000	¥250,000	¥0	¥3,600,000

(前年度) 開催数 134回

収入額 3,350千円

尾鷲市から受託した一般介護予防事業について、地域住民が住み慣れた我が地域で安心して生活することを目標とし、尾鷲市福祉保健課と協議の上、週4回、年間144回実施し、その一翼を担うことに繋げた通所介護事業の使命が達成できた。

## 輪内高齢者サービスセンター

### 1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

- (1) 社協業務の受付窓口としての機能
  - ① 福祉相談窓口業務として相談を受け、市や介護保険関係事業所との連携を図った
  - ② 輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した  
5月 日赤募金 10月 共同募金
- (2) 台風接近により高齢者サービスセンター避難所開設回数 無し
- (3) 施設の適正な管理・運営に努めた

### 2. 輪内地区食の自立支援事業（委託事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、食事を作ることが困難な65歳以上の高齢者の方を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	輪内地域 (梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦)
登録者数	26名
延べ配食数	3,467食
事業費	2,135,650円
(うち市補助分)	(748,850円)

地区別登録者内訳

(梶賀1、曾根4、賀田8、古江10、三木里1、三木浦2)

### 3. 輪内地区あったか弁当事業（自主事業）

食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対象とならない65歳未満の方が同居の住民に自主事業として、年間284食の配食サービスを実施した。



